

1. 育成のねらい

チューリップの花型には一重咲きのほか、八重咲き、ユリ咲き、フリンジ咲きなどがあり、県育成チューリップの花型のバリエーションを増やすため、人気の高い「フリンジ咲き」品種を育成する。

2. 育成経過

平成8年：交配



平成13年：初開花、初選抜



平成22～24年：育成系統選抜試験
系統名付与「砺波育成137号」



平成25～29年：系統特性検定試験



平成30年5月：チューリップ新品種命名検討委員会 命名「炎のダンス」



平成30年7月：品種登録出願

♀ Blue Heron



×

♂ Flaming Youth



68粒

2系統



「砺波育成137号」



3. 品種の特徴

・フリンジ咲きとしては数少ない朱色

(露地開花特性)

- ・露地での開花期は4月下旬で、観賞期間は10日程度
- ・花梗長がやや短く茎葉は強健で、花壇植えに適している



(球根収量性)

- ・球根収穫期は6月上旬
主球の肥大性は「大」、分球性は「中」、
収量性は「多」
- ・ほ場裂皮の発生率は5%未満

(耐病性)

- ・土壌伝染性病害抵抗性は、
微斑モザイク病「中」、条斑病「やや強」、
球根腐敗病「中」



(促成適応性)

- ・3月出荷が可能(12月～2月出荷の作型には不適)

4. 販売までの経過

平成30年から県内生産者のほ場で原種増殖が開始され、令和2年に県球根組合を通じて生産者へ原種供給、令和3年収穫の球根より販売を開始